

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 24 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		認定農業者協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	澤田 修一
	基本事業	32	経営力の強化・生產品の価格安定			所属班	農業振興班	(内線)	1165
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市補助金等交付規則		
	1	6	1	5	10285		成果優先度評価結果		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)					
				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市認定農業者協議会の活動に対して助成を行い、事務局として運営に参加する。国による認定農家制度が導入され、認定農業者の組織化を推進し、積極的な活動を図るため、開始された対象者(会員)、法令等は5年前と比べ、大きい変化はないが、助成額は減少している
【業務の流れ】	協議会からの事業計画承認申請受付、内容審査、内示、補助金交付申請書受付、決定通知、概算支払い、事業完了報告、額の確定、総会及び役員会の開催、研修会等の企画実施
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	対象者からは増額の要望はあるが、特別な意見はない

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 女性認定農業者研修、全体研修、部会ごと研修、全国大会への参加、意見交換会、中学生農業体験受入	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 全体研修、部会ごとの研修、女性認定農業者研修、全国大会参加、意見交換会、中学生農業体験受入
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 学習会回数	(単位) 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市認定農業者協議会	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア 会員数 イ
(単位) 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 学集会や研修等の実施及び情報交換等の活動を行う。	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア 協議会の活動件数 イ 学習会・研修会参加者の割合
(単位) 件	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 認定農業者協議会で市の補助を受けており、活動に対する補助であることから活動や研修会参加の数値とする。 平成21年度の実績を目標値とした	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		1	1	1	1	2	2	2
	イ 回		2	3	3	8	3	3	3
⑤ 対象指標	ア 人		187	185	195	195	196	197	198
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件		未把握	未把握	6	6	6	6	6
	イ %		未把握	未把握	40	40	40	40	40
事業費 投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	550	449	611	420	600	600	600
	(A) 事業費計	千円	550	449	611	420	600	600	600
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	1	8	8	8	8	8	8
	延べ業務時間	時間	228	620	620	650	638	620	620
	(B)人件費計	千円	905	2,480	2,468	2,587	2,539	2,468	2,468
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,455	2,929	3,079	3,007	3,139	3,068	3,068	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	認定農業者協議会助成事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

現状より低下しない取組を行う